エコアクション21

環境経営レポート

対象期間 令和5年10月1日~令和6年9月30日 発 行 令和6年11月1日









株式会社 太陽紙業小松

環境経営レポート目次

1. 環境経営方針	1
2. 事業概要	2,3
3. 対象範囲	3
4. 組織概要	4
5. 環境経営目標とその実績	5,6
6. 主要な環境経営計画の内容	7
7. 環境経営の取組結果の評価	8,9
8. 環境関連法規への違反、訴訟の有無	10
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	10

1. 環境経営方針

環境経営方針

㈱太陽紙業小松は、地球環境保全の理念に基づき、古紙リサイクル運動、3R運動および省資源・省エネルギー運動を理解し、古紙回収および産業廃棄物・一般廃棄物の収集・運搬ならびに循環資源回収の事業活動を通して、省エネルギーを徹底し、環境保全に努めます。

- ① 事業活動を通じて、資源再生化を推進し、地球環境の保全に努めます。
- ② エネルギーの効率的利用として、特に工場の電気使用量及び 集荷車両・構内車両の燃料を抑制し、CO2排出の低減に努めます。
- ③ 資源の有効な活用を図り、廃棄物の削減に努めます。
- ④ 環境関連法規を遵守します。
- ⑤ 環境方針の達成のため、環境目標および活動計画を策定し、 その実現を全従業員に周知徹底し、定期的な評価・見直しにより、 継続的な改善を推進します。
- ⑥ 環境経営レポートを公表する等、社内外に対して、環境保全に関する情報の提供を行い、関連会社にも認識してもらうよう努めます。

平成25年11月20日 株式会社 太陽紙業小松 代表取締役社長 島 畑 朝 羊

2. 事業概要

- 1) 事業所名及び代表者氏名
 - 株式会社 太陽紙業小松

代表取締役社長 島畑 朝羊

2) 所在地

〒923-0964 石川県小松市今江町9丁目264番地1

T E L : 0761–21–7722

FAX: 0761-23-6655

3) 環境管理責任者及び連絡先

責任者:工場長 西郷 永利

連絡先: 〒923-0964 石川県小松市今江町9丁目264番地1

E-mail:taiyou-komatu@tune.ocn.ne.jp

- 4) 事業活動の主な内容
 - (1) 製紙原料の集荷販売
 - (2) 産業廃棄物の収集運搬
 - (3) 一般廃棄物の収集運搬
- 5) 事業の規模

売上高 89 百万円(令和5年度)

集荷・収集実績 5,326 トン(令和5年度)

内訳 古紙 5,293 トン(令和5年度)

産業廃棄物:廃プラスチック 17 トン(令和5年度)

一般廃棄物:可燃ごみ 16 トン(令和5年度)

廃家電: 86 台(令和5年度)

従業員数 7名

土地 2,101.44 m²

建物 事務所 延 96.39㎡

作業所 延 897.12 m²

保管所 延 167.59 m²

6) 設立年月日及び資本金

設 立:平成8年11月28日

資本金:3,000 万円

7) 許可の内容

≪廃棄物再生事業者登録≫

石川県登録番号 第0110000053号

登録年月日 平成13年3月7日

廃棄物等の種類 古紙

再生品の種類 古紙

《一般廃棄物収集運搬業》

小松市許可番号 第13号

許可年月日 平成12年4月1日有効期限 令和 8年3月31日

《産業廃棄物収集運搬業》

石川県許可番号 第01710068948号

許可年月日 令和 2年6月18日

有効期限 令和 7年4月20日

事業の範囲 (1)積替え、保管を除く

紙くず、木くず、金属くず*、

「ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず」*

(*:自動車等破砕物を除く)

これらのうち特別管理産業廃棄物であるもの、 石綿含有産業廃棄物であるものを除く以上4種類

(2) 積替え、保管を含む

廃プラスチック類*、繊維くず (*:自動車等破砕物を除く)

これらのうち特別管理産業廃棄物であるもの、 石綿含有産業廃棄物であるものを除く以上2種類

積替え保管 面積 330㎡、保管上限量 12㎡

≪一般廃棄物処理施設設置許可≫

石川県許可番号 第1762009号

許可年月日 平成31年2月19日

施設の種類 ごみ処理施設(圧縮、梱包)

一般廃棄物の種類 紙くず(容器包装リサイクル法、その他の紙)

《一般廃棄物収集運搬許可(廃家電)》

白山市許可番号 第23号

8) 収集運搬車両の種類と台数

4トントラック1台4トン塵芥車2台2トン塵芥車2台

1トントラック 2台

3. 対象範囲

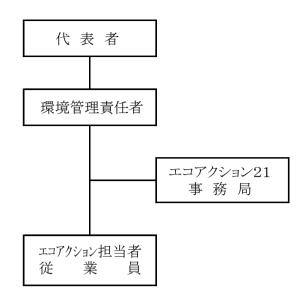
認証・登録範囲 全組織 本社・工場

全活動 (1) 製紙原料の集荷販売

(2) 産業廃棄物の収集運搬

(3) 一般廃棄物の収集運搬

4. 組織概要



責 任 者	役割・責任・権限
	・環境方針を策定する
代 表 者	・エコアクション21の実行に必要な資源を用意する
島畑朝羊	・環境管理責任者を任命する
	・エコアクション21全体の取組状況を評価し、見直しを実施し、必要な指示
	を行う
	・環境経営システムを構築・運用する
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・運用状況を代表者に報告する
西郷 永利	・環境関連法規の遵守状況をチェックする
	・外部からの苦情や要望に対応する
	・問題点に対して是正処置及び予防処置を行う
エコアクション21事務局	・環境目標に関するデータを集計し、環境管理責任者に報告する
古野裕人	・廃棄物の秤量を行う
南 留美	・外部からの苦情や要望を受け付ける
	・エコアクション21に関する文書と記録を管理する。
	・環境目標に関するデータの確認と従業員への周知を行う
エコアクション担当者	・環境経営計画の実施状況の確認と従業員への周知を行う
西 郷 永 利	・環境管理責任者を補佐する
従 業 員	・環境経営計画の具体的な取組み内容を実行する

5. 環境経営目標とその実績

①目標(令和5年度~令和7年度)

OH W (1944)		単年度の目標中長期の目標				
目標項目		R5年10月	R6年10月	R7年10月	R5年10月	備考
		\sim	\sim	\sim	~	(基準年等)
		R6年9月	R7年9月	R8年9月	R8年9月	
1.仕入数量の増加		0.5%	1.0%	1.5%	1.5%	令和2年10月 ~令和5年9月 平均
		5,742t	5,771t	5,799t	5,799t	5,714t
	電気使用量の削減 (単位:kwh)	0.5%	1%	1.5%	1.5%	令和2年10月 ~令和5年9月 平均
2. 二酸化炭素排出量の削 減	(+- <u>F</u> Kwii)	35,529	35,351	35,172	35,172	35,708kwh
減 (省エネルギー)	燃費の向上 (単位:km/0)	0.5%	1.0%	1.5%	1.5%	令和2年10月 ~令和5年9月 平均
		5.00	5.02	5.05	5.05	4.98
	排出量総量の削減 (単位:kg)	0.5%	1%	1.5%	1.5%	令和2年10月 ~令和5年9月 平均
3. 廃棄物排出量の削減		168	167	166	166	169
(またはリサイクルの推進)	リサイクル率の向上 (単位:%)	0.5%	1.0%	1.5%	1.5%	令和2年10月 ~令和5年9月 平均
		90.89%	91.35%	91.80%	91.80%	90.44%
4. 総排水量の削減(節水)(単位: ㎡)		1%	2%	3%	3%	令和2年10月 ~令和5年9月 平均
		54	53	52	52	55
5. グリーン購入		・事務用品(グリーン製品)の購入				
		・交換品としてのトレットヘ゜ーハ゜ー(再生品)の購入				

- 1.仕入数量は過去3年間の平均値を基準として、今後3年間で1.5%増を目標とした。
- 2.二酸化炭素排出量、廃棄物排出量についても過去3年間の平均値を基準として、今後3年間で1.5%削減する。
- 3.総排水量(水道水使用量)は過去3年間の平均値を基準として、今後3年間で3%削減する。
- 4. 当社は化学物質を使用していないので目標設定していない。
- 5.購入電力の排出係数を**0.514**(kg-CO2/kWh)で算出。

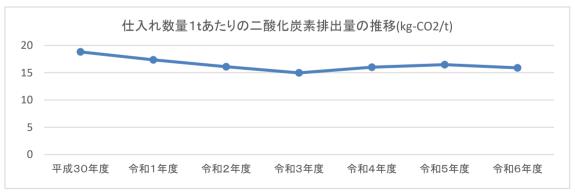
②実 績

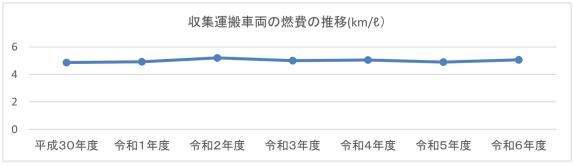
目標項目		単年度の実績			実績	目標
		R2年10月	R3年10月	R4年10月	R5年10月	R5年10月
日保垻	Ħ	\sim	\sim	\sim	~	\sim
		R3年9月	R4年9月	R5年9月	R6年9月	R6年9月
1.仕入数量の増加(単位:t)		5,816	5,742	5,542	5,325	5,742
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2)	87,060	91,941	91,451	84,683	実績把握
2. 二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー)	仕入数量1tあたりの 二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/t)	14.97	16.01	16.50	15.90	実績把握
	電気使用量の削減 (単位:kwh)	35,373	36,742	35,011	32,840	35,529
	燃費の向上 (単位:km/Q)	5.01	5.05	4.90	5.06	5.00
3. 廃棄物排出量の削減	排出量総量の削減 (単位:kg)	177	161	169	173	168
(またはリサイクルの推進)	リサイクル率の向上 (単位:%)	84.85	92.91	93.57	88.24	90.89
4. 総排水量の削減(節水) (単位: ㎡)		54	56	55	57	54
5. グリーン購入	事務用品の購入	購入するよう 努力した	購入するよう 努力した	購入するよう 努力した	購入するよう 努力した	数値目標なし
3. フッ・マ 原列へ	トイレットへ゜ーハ゜ー (再生品)の購入	100%	100%	100%	100%	100%

※購入電力の排出係数を0.514(kg-CO2/kWh)で算出。

①廃棄物排出量は一般廃棄物の排出量

②仕入数量1tあたりの二酸化炭素排出量を算出した。今後、目標値とするかは検討課題である。





6. 主要な環境経営計画の内容

目標項目	具体的な取組み内容	担当者	責任者	
1. 仕入数量の増加	・新規仕入先の開拓・仕入得意先のサービス向上	西郷全員	西郷	
2. 二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー)	 ・・東イドリングストップの徹底 ・エアコン使用時間の短縮 ・エコドライブの推進と徹底 ・効率的な収集運搬ルートの計画と実施 ・月間車両ごと燃費実績の記載と全従業員周知《構内車両》 ・アイドリングストップの徹底 ・効率的な運搬操作の周知徹底 ・月間車両ごと燃料使用実績の記載と全従業員周知西 		西郷	
	B.電力・灯油・プレス機械の効率の良い(古紙・空缶類はまとめて流す、空運転を無くす等)運転の徹底 ・室内設定温度の徹底(冷房28℃、暖房20℃) ・月間使用量、使用金額のグラフ掲示と全従業員周知	西郷 南 西郷·古野		
	A.事務所系 ・一般廃棄物の分別方法(小松市)を遵守徹底 ・排出量の秤量徹底 ・従業員の個人ゴミ(弁当ガラ、飲料缶)社内 持込ゼロの徹底	南南全員		
3. 廃棄物排出量の削減	B.事業所系 ・古紙(新聞雑誌ダンボール他)結束用のヒモとして 「紙ヒモくん」の利用PR ・行政・町内会に対する集団回収時等の禁忌品 混入防止のPR ・番線の再利用	西郷西郷西郷	西郷	
4. 総排水量の削減(節水)	・水道メータ検表のデータ記録と掲示(2ヶ月に1回) ・『節水。水を大切に使いましょう!』の札を流し等に掲示 ・毎月第1水曜日に水道配管の漏洩点検を実施する。	古野南西郷	西郷	
5. グリーン購入	・事務用品(グリーン製品)の購入 ・交換品としてのトイレットペーパー(再生品)の購入	南西郷	西郷	

7. 環境経営の取組結果の評価

①環境目標の達成状況

目標項目		目標数値	実 R5年10月~ R6年9月	達成状況 ○:目標達成 ×:目標未達 目標値との差	基準年等
1.仕入数量の増加		5,742t	5,325	× 417t減	令和3~5 年度平均
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2)		84,683		実績把握
2. 二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー)	仕入数量1tあたりの 二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/t)		15.90		実績把握
	電気使用量の削減	35,529 kwh	32,840	○ 2689kwh減	令和3~5 年度平均
	燃費の向上	5.00 km/0	5.06	○ 0.06km/ℓ減	令和3~5 年度平均
3. 廃棄物排出量の削減	排出量総量の削減	168kg	173	× 5kg増	令和3~5 年度平均
(またはリサイクルの推進)	リサイクル率の向上	90.89%	88.24	× 2.65%減	令和3~5 年度平均
4. 総排水量の削減(節水)		54 m³	57	× 3㎡増	令和3~5 年度平均
5. グリーン購入	事務用品の購入	数値目標なし	購入するよう努力した	0	
jo. クリーン 購入	トイレットペーパー (再生品)の購入	100%	100%).日博法ポーン.日博士:	

○:目標達成 ×:目標未達

評価の結果 及び 未達成原因とその対応策

1. 仕入数量は目標より、417t少なかった。

新型コロナウィルス感染拡大の影響はまだあるが、人手不足もあり、さらに減少した。目標を見直すことも検討しながら仕入数量増のために必要なことを考えていきたい。

- 2. 二酸化炭素排出量の削減について、電気使用量については目標を達成することができた。 燃費についても目標を達成することができ、評価したい。
- (1)電気使用量が大幅に削減できたのは、仕入数量の大幅減にも関係しているので、バランスを考え節電に努めていきたい。
- (2)燃費については、7月に新車を購入したことも要因にあるかもしれないが、電気使用量と同様のことが言えるかもしれないので、やはり仕入数量増を目標にしたうえで、燃費向上にも努めていきたい。
- 3. 廃棄物排出量の削減については、今年度目標総量よりも5kg増加し、リサイクル率も1.8%減となり達成することができなかった。

社員のゴミを減らすいしきをもっと高めていきたい。

- 4. 総排水量の削減については、目標値より3㎡増加してしまった。もっと節水の意識を高めていきたい。
- 5. グリーン購入については事務用品購入時に担当者がグリーン製品を買うように意識した。 また、交換品用のトイレットペーパーの購入については、従来通り全て再生品を使うようにした。

②環境経営計画の実施状況と次年度の取組

少 來死性百百酉少天加	実施状況			
目標項目	具体的な取組み内容		R5年10月1日	次年度の取組
			~R6年9月30日	
 1. 仕入数量の増加	•新規仕入分		\circ	新規開拓の強化
	• 仕入得意分	たのサービス向上	Δ	
		《集荷車両》		
		・アイドリングストップの徹底	\triangle	新車購入の際
		・エアコン使用時間の短縮	\circ	省エネタイプ車
		・エコドライブの推進と徹底	\triangle	の購入
		・効率的な収集運搬ルートの計画と実施	\triangle	
	車両燃料	・月間車両ごと燃費実績表の記載と従業員周知	\circ	
		《構内車両》		
2. 二酸化炭素排出量の削減 (省エネルギー)		・アイドリングストップの徹底	\triangle	
		・ 効率的な運搬操作の周知徹底	\circ	
		・月間車両ごと燃費実績表の記載と従業員周知	\circ	
	電力・灯油	・省エネの油圧プレス機導入による	0	
		電気使用量の削減		
		・室内設定温度の徹底(冷房28℃、暖房20℃)	\circ	
		・月間使用量、使用金額の記載と従業員周知	0	
	事務所系	 ・一般廃棄物の分別方法(小松市)の遵守徹底	0	
		・排出量の秤量の徹底	0	
		・従業員の個人ゴミ社内持込ゼロの徹底		ゼロの徹底
3. 廃棄物排出量の削減 (及び リサイクルの推進)		・古紙(新聞雑誌ダンボール他)結束用のヒモとして	0	
		「紙ヒモくん」の利用PR		
	事業所系	・行政・町内会に対する集団回収時等の禁忌品	0	PR活動の推進
		混入防止のPR		
		・番線の再利用	0	
	水道メータ格	▲ 最表のデータ記録と掲示(2ヶ月に1回)	\circ	活動の維持
 4.総排水量の削減(節水)		大切に使いましょう!』の札を流し等に掲示		1 - 2 - 2 Mirr 1 .1
- Media- vilas vilas vilas		配送 ならよう・高った日といっています。 雇日に水道配管の漏洩点検を実施する。		
			_	
5. グリーン購入		グリーン製品)の購入	0	活動の維持
7947	・交換品とし	てのトイレットペーパー(再生品)の購入	0	
-	() 形 2 知	んだ ∧・取り組み不充分 ×・取り	り付けわかっ	+_

 \bigcirc :取り組んだ \triangle :取り組み不充分 \times :取り組まなかった

結果の評価

1. 数件だが新規仕入先の開拓ができた。

今後は、小松市周辺の企業まで範囲を広げて新規開拓を行い、古紙の回収量を増やしていく。

- 2. アイドリングストップ(集荷・構内車両とも)の徹底、エコドライブの推進、効率的な収集運搬ルートの計画と実施について充分に行えなかった。今後△マークの取組項目について充分に周知徹底するように努めたい。電気使用量については、仕入数量の減少に伴い減少した。 事務所内の蛍光灯LED化を進めていく。
- 3. 取組期間中のプレス機の効率運転は従業員に徹底されていた。

8. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

遵守義務を受ける主な環境関連法規制等は次の通りです。

法規制等の名称	区分	遵守項目
	産業廃棄物 (専ら物以外) の収集運搬	収集・運搬の許可
		収集・運搬の基準
 廃棄物処理法		積み替え保管の基準
)		収集運搬受託者に係るマニフェス関係の責務
	一处皮套物加理按验	一般廃棄物施設許可
	一般廃棄物処理施設	一般廃棄物施設の維持管理に係る責務
	パッカー車 キャブオーバー	酒気帯び運転・過労運転の防止
		運行前点検の実施
道路 3 法 (道路交通法) (道路運送車両法) (道路法)		最高速度違反の防止
		過積載の防止
		通行制限の順守
		法で定められた自動車検査(車検)の実施
家電リサイクル法		収集・運搬の基準
家电7917M公		管理票の交付・回付・保存
顧客からの要請	再生紙原料	禁忌品を混入しないこと
騒音規制法	ごみ処理施設	特定工場等の規制基準
振動規制法	ごみ処理施設	特定工場等の規制基準
火災予防条例	工場内	指定可燃物(古紙)の貯蔵及び取扱い

環境関連法規制等の遵守状況を確認した結果、遵守事項・確認事項を満たしていた。 なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

- 9. 代表者による全体評価と見直しの結果
- ・人手不足もあり昨年度より仕入数量が減少し、目標を達成することができなかった。
- ・電気使用量の削減については、省エネの油圧プレス機導入の成果はあったが、 仕入数量の減少が影響している。 事務所内蛍光灯のLED化を進める。
- ・燃費向上について目標も達成することができた。次年度も向上に努めていきたい。
- ・廃棄物排出量は排出量、リサイクル率ともに目標を達成することができなかった。 より意識を高めていきたい。
- ・総排水量の総量削減目標が達成できなかった。節水の意識を高めていきたい。
- ・環境方針、環境経営システムは変更の必要はなく、現状のまま継続していく。
- ・環境経営計画を従業員に、さらに周知徹底してPDCAを 確実に回していく事を継続していく。